

甲府警察署協議会 令和4年度第1回定例会議 議事概要

開催日	令和4年5月18日(水)
開催場所	甲府警察署2階大会議室
出席者	協議会 会長及び委員 8名 警察署 署長、副署長、課長、係長等 15名
議事概要等	<p>1 令和3年度第4回協議会における意見要望に対する回答</p> <p>(1) 歩道から横断歩道に立ち止まったとき、止まる車と止まらない車がある。私も運転する立場になった時には、周りに意識を向けて運転したい。</p> <p>【回答】</p> <p>現在、山梨県警では、信号機のない横断歩道における歩行者優先を徹底するための取組を強化している。</p> <p>運転者に対しては、横断歩道手前にある道路標示(ダイヤモンドマーク)の意味(この先に横断歩道あり)を周知するとともに、ダイヤモンドマークを確認(チェック)したら、前方の横断歩道付近を必ず確認(チェック)し、横断歩道を横断中の方、若しくは横断しようとする方がいたら、停止線の手前で必ず一時停止して歩行者の優先を徹底するという「ダイヤモンドチェック運動」を行っている。</p> <p>また、歩行者に対しても道路を横断する際に横断しようとする意思を運転者に明確に伝えるためのハンドサインと道を譲ってくれた運転者に対する一礼を励行する「ハンドサイン(プラス一礼)運動」を推進している。</p> <p>今後も多くの皆様方にこの運動を知っていただき、歩行者と車が関係する交通事故の絶無に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>(2) 昨年、甲府警察署で開催したインターンシップでは、何人の学生が参加したのか。そのうち何%が採用試験を受けたのか。</p> <p>【回答】</p> <p>令和3年度に甲府警察署で開催したインターンシップには、大学生6名、高校生7名の計13名が参加した。</p> <p>うち、令和3年度の採用試験を受けた学生は高校生2名で、今春募集の令和4年度採用試験には2名の大学生が受験している。</p> <p>(3) ニュースで最近中高生がスマホの掲示板等で家出先を探し、そこで犯罪に巻き込まれる事例が増えているようだが、県内はどのような状況か。</p> <p>【回答】</p> <p>県内において、誘拐や監禁といった大きな犯罪に発展した事例はない。</p> <p>しかし、家出少女がSNSで知り合った男性と行動を共にするといった事例は散見される。</p> <p>SNSに起因するトラブルは、重大事件に発展する危険性が高いことから、未成年者のSNS利用や出会い系サイ</p>

トの危険性についての指導が重要課題と捉えているので、教育機関と連携してSNSの利用や出会い系サイト利用の危険性について生徒達にも指導している。

- (4) 生活安全相談の受理件数が大きく増加しているが原因は何が推測されるか。

【回答】

インターネットを利用して商品を購入する際に、「料金を支払ったが商品が届かない」といったケースや「メールで支払いを請求された」いわゆる架空請求の相談が増加したことが要因として考えられる。

- (5) 重要窃盗犯について検挙件数が認知件数を超えているが前期までの認知案件を検挙したということか。

【回答】

指摘のとおりで、前期までに認知していた事件を検挙したことに加え、その他にも、当署では、県内で連続発生した侵入窃盗事件を検挙するなどしており他署で認知している事件を当署で検挙したことにより、検挙件数が認知件数を上回る状況になっている。

- (6) 電話詐欺の被害額の合計が前年比で増加しているのはなぜか。

【回答】

電話詐欺発生件数については、11件と前年比-10件であったが、被害額は4096万円と前年比+2316万円と大幅に増加している。

原因とすれば、令和3年8月に認知したオレオレ詐欺の被害額が1件で2750万円という事件が発生したことで年間の被害額が増加したと考えられる。

- (7) 児童虐待事案は家庭内という性質上非常に介入が難しく抑制困難でありながら、表面化する時は、死亡等重大なニュースになるので、自治体や子供達の生活や教育を支えている様々な機関と連携して、子供に「こんな行為は我慢しないで誰かに伝えて」という機会を与えるなどをしていくことがよいと思う。

【回答】

意見のとおり、児童虐待は非常に潜在化しやすく介入が難しい面がある。

警察では、児童虐待が疑われる事案だけでなく、夫婦げんかや他の家庭内トラブルに対応する際には、児童虐待という面を考え、家庭状況の把握や児童からの聴取、身体の確認等をできる限り行い、潜在化している児童虐待事案の発見に努めている。

また、学校と警察では、様々な面で連携しており、学校でもいじめについてのアンケートなどの際に、家族等を含めた暴力経験等についても確認し、疑いのある事案があった際には、児童から聞き取りをすると共に警察にも情報提供がなされ、必要に応じて捜査機関として警察が介入している。

実際に、これらの活動により児童虐待を早期に発見し、重大事案に発展する前に児童の保護、保護者への指導、事件化を行った例は複数ある。

委員からの意見のように、児童が自ら虐待を訴えることができる機会や仕組み、そのための教育を行っていくことは非常に重要であると考えているので、今後、教育機関や児童相談所等とも検討していくこととさせていただく。

- (8) 車を運転していて「山の手通りは走りにくい」と思う。片側2車線にはなっているが、道幅は狭く、右折専用レーンのない交差点もある。

路面標示も工夫されているが、これ以上の方策は難しいのか。

【回答】

道路の新設や改良については、道路管理者が行っている。「山の手通り」は、県道（主要地方道甲府韮崎線）であることから、山梨県（中北建設事務所）が道路の維持・管理を行っている。

山の手通りが走りやすい道路となるよう、「道路の拡幅」や「右折専用レーン設置」について、山梨県（中北建設事務所）に要望を伝えさせていただく。

2 令和4年1月～3月の業務推進状況等の説明及び質疑等

(1) 業務説明

各課長から1月から3月までの業務推進状況を説明した。

(2) 質疑・回答（対応）

ア 遺失拾得の取扱い件数がコロナ禍前の水準に戻りつつあるとの説明を受けたが、甲府警察署で拾得物の取扱いが多いのはどのような場所か。

【回答】

甲府警察署での拾得物の取り扱いは、電車や駅の他、甲府中心街が多い。

イ 指名手配ポスターが電車やバスなどに貼られているのを見るが、山梨は公共交通機関の利用客が少ないことから、スーパーやホームセンターなど人通りの多い場所に貼ってはどうか。

【回答】

電車、バスなどの公共交通機関に加え、民間のスーパー等に広くポスター貼付を働きかけ、指名手配犯人の情報提供について更なる周知を図ることとしたい。

ウ 少年法が改正されたことで、昨年、甲府市内で発生した放火殺人事件の少年の犯人の名前や顔が報道されている。

氏名等が公表される基準を教えてください。

【回答】

令和4年4月1日から、18歳と19歳を特定少年とし、重大事件で起訴された場合、氏名の公表ができることとされている。

公表するかどうかは、検察庁が個々事案ごとに判断する。

エ 拾得の特異な取扱いとして高額現金拾得の説明を受けたが、現金が入っていたポーチやバッグも高価なものだったのか。

また、現金が入っていたポーチやバッグはどのようにカウントをするのか。

【回答】

令和4年1月から3月の取扱いにあった高額現金入りのポーチやバッグは、ブランド等の高価なものではなかった。

書類上の取扱いとしては、ポーチやバッグを主たるものとして扱い、その在中品として現金を計上している。

オ 組織犯罪対策課の業務説明で、「半グレ」についての説明があったが、「半グレ」という言葉は、以前は使われていなかった最近の言葉という認識である。

警察の専門用語なのか。

【回答】

「半グレ」は、マスコミ等が一般に分かりやすい言葉として使っているものであり、警察用語では、このような暴力団に所属していない犯罪集団を「準暴力団」と呼称している。

「半グレ」という言葉自体は、以前から存在していたが、暴力団を扱った本で使用されて有名になったと言われている。

カ 元々コンビニエンスストアであった空き店舗を短期間利用して、お年寄りを集客し、商品などを売りつけているものがあり、詐欺にあたるのではないかと考えている。

こうしたところを巡回したり、立ち入ったりして、被害を未然に防ぐような取組はできないか。

【回答】

お尋ねのものは、年配者等を集め、最初に日用品等を無料で配布して、参加者の気分を高揚させ、最終的には高額な商品を売りつける催眠商法という商法と思われる。

何かしらの違反が認められる場合は、事前に取り締める必要がある。

また、これは特定商取引にあたり、消費者が契約を一方的に解約できるクーリングオフの対象となる。

不利益を被った消費者には、有益なアドバイスができるので、このような集客行為を認めた際には情報提供していただきたい。

3 令和4年下半期甲府警察署速度取締りの指針について
令和4年下半期の甲府警察署管内における速度取締りの指針について諮問が行われ、「異議なし」との答申を受けた。



会議の状況